

事例とともに考える 医工連携と知財戦略セミナー

医療機器開発においては、医療従事者とのつくり企業の双方が知財面に係る知識不足を背景にトラブルが生じるケースが少なくありません。医工連携特有の知財面に関する知識・事例を知ることで、円滑な開発の一助となり開発の遅滞やマッチングの機会の喪失を防ぐことにつながります。

本セミナーは、医工連携と知財戦略に関する基調講演及び医療現場・ものづくり企業・支援機関それぞれの視点での事例紹介を通じて、医工連携における知財理解の重要性と基礎知識をお伝えします。

2022年 **10月31日** (月)
13:00~15:30

YouTubeにて限定配信（お申込は裏面をご確認ください）
※URLはお申し込み後、事務局より送付いたします。

PROGRAM

第1部

【基調講演】医工連携と知財戦略 (45分)

神谷 直慈 氏
浜松医科大学 産学連携・知財活用推進センター 顧問
弁理士・中小企業診断士

第2部

臨床現場のニーズを用いた医工連携の事例 (20分)

西垣 孝行 氏
森ノ宮医療大学 臨床工学科 准教授

第3部

製造業からみた医工連携について (20分)

山崎 陽彦 氏
株式会社オーゼットケー 代表取締役社長

第4部

医工連携のハードルと必要な支援 (20分)

浅岡 陽介 氏
公益財団法人大阪産業局

第5部

パネルディスカッション (～持続的な医工連携と知的財産について～) (30分)

ファシリテータ：浅岡 氏
パネラー：神谷氏、西垣氏、山崎氏

第6部

知財総合支援窓口について (10分)

若木 かおり 氏
INPIT 富山県知財総合支援窓口

主催：経済産業省 中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局
協力：(公財)富山県新世紀産業機構 石川県次世代ヘルスケア産業協議会
(公財)石川県産業創出支援機構 福井しあわせ健康産業協議会
(一社)富山県臨床工学技士会 (一社)石川県臨床工学技士会
(一社)福井県臨床工学技士会 INPIT富山県知財総合支援窓口

【問い合わせ先・事務局】
中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局
地域経済産業課 市川・柳澤
076-432-5518 hokuriku@meti.go.jp
※【一部事務局】(株)ジェック経営コンサルタント

事例とともに考える医工連携と知財戦略セミナー

2022年10月31日(月)

YouTubeにて限定配信

13:00~15:30

第1部

かみや ただし

神谷 直慈氏

浜松医科大学

産学連携・知財活用推進センター 顧問

弁理士・中小企業診断士



特許庁審査官、特許事務所弁理士、静岡大学及び浜松医科大学コーディネータ、日本医療研究開発機構 (AMED) 知財コンサルタントなどを経て現職。

特許庁では主に医療診断機器を中心に約 2000 件の特許を審査、大学では産学連携・医工連携プロジェクトに参加、AMEDでは機構発足時のメンバーとして研究成果の実用化のための仕組み作りや数多くの医工連携プロジェクトの知財戦略支援に従事した。

現在は、浜松医科大学産学連携・知財活用推進センター顧問、静岡大学イノベーション社会連携推進機構客員教授も務める。

第2部

にしがき たかゆき

西垣 孝行氏

森ノ宮医療大学

臨床工学科

准教授



2000年から国立循環器病研究センターで17年間、臨床工学技士として従事。人工心肺や補助循環などの臨床業務と並行して博士（応用情報科学）取得、また7年間医工連携に従事、感染予防用アイガード「パラシールド」を商品化。経済産業省の始動NextInnovator2016に参加（シリコンバレー派遣組み20名に選抜、最終プレゼンターに選出）。2017年経済産業省医療福祉機器産業室を経て、2018年に森ノ宮医療大学に着任。2019年「医工デザイン融合」をコンセプトに、命を守っている人を守るための新しい構造を創るNPOまもるをまもるを法人化。命の現場の課題をアートで切り取り、産業界の付加価値としてサービス応用にトライするプラットフォーム「evaGraphy」を開発（12月14日にローンチ）。

CancerX、臨床工学技士100人カイギ発起人（医療職種100人カイギ企画）、プラスメディカルなど医療者が集まって新しい取り組みに挑戦する「出島」を造っている。

お申し込みは

[こちらを
クリック!](#)

下のQRコードからも
お申し込み頂けます



第3部

やまさき はるひこ

山崎 陽彦氏

株式会社オーゼットケー

代表取締役社長



大阪府八尾市の企業、株式会社オーゼットケーの代表取締役。創業以来70年にわたりブラジャー、コルセットなどのインナーウェアに使用される、多種多様な部材を扱い、高い技術と経験を生かして、高機能、高品質な「ものづくり」をつづける。長年培ってきた、材料面・形状面からの知見・加工技術を活用した独創的な新しい発想による手術器具（開創器：スパイラルリトラクター）を開発し、2018年には関東経済産業局の海外展開支援事業「Medical TAKUMI Japan」に、2019年には近畿経済産業局の「関西ものづくり新撰2019」に選定される。同じ頃開発した手術用開創器（フレックスパンダー）と共に現在全国の複数の病院に導入されるなど、医療機器開発に取り組んでいる。

第4部

あさおか ようすけ

浅岡 陽介氏

公益財団法人大阪産業局

おおさかなレッジ・フロンティア推進機構

チーフプランナー



財務系コンサルティングファーム、有限責任監査法人トーマツの経営コンサルタントを経て独立。

コンサルティングファームでは、経営戦略立案、新規事業創出、技術移転、事業提携、再生業務等、企業の幅広い成長ステージに対応した支援業務に従事。

現在は（公財）大阪産業局に属し、技術開発型のベンチャー企業や中小企業に対して、企業が抱える課題（ビジネスモデル、資金調達、販路、事業提携等）に応じたハンズオン支援に従事している。

申込締切：2022年10月31日（月） 9:00まで

↑10/2（日）までにお申し込みの方は、パネルディスカッションのテーマに関するご要望もお受け致します！